

第4学年 外国語活動学習指導案

日 時：

学 校 名：

展 開 学 級：

授 業 者：

1 単元名 Do you have a pen? 「おすすめの文房具セットをつくろう」(Let's Try!2 Unit5)

2 単元目標

- ・文房具などの学校で使う物や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。【知識及び技能】
- ・文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合っている。
【思考力、判断力、表現力等】
- ・相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。
【学びに向かう力、人間性等】

3 単元について

本時単元では、学習指導要領外国語活動（1）聞くこと イ「ゆっくりはつきり話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする」と（3）話すこと [やり取り] イ「自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的に表現を用いて伝え合うようにする」ことが目標である。文房具など学校で使う物について持っているか尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、双方向でコミュニケーションがとれるようにすることをねらいとしている。

本学級の児童は、第3学年の外国語活動において、好きな色や食べ物、スポーツなど英語の基本的な語彙や表現、それらを用いた簡単なやり取りに慣れ親しんできた。その中で、友達とやり取りすることの楽しさを味わい、多くの人と積極的にコミュニケーションをとろうとする態度が育ってきている。そのため、本単元では、聞き手が理解しているか確認しながら話したり、相手の話に反応しながら聞いたるなど、相手に配慮しながらコミュニケーションをとろうとする態度を育てたい。

本単元では、“Do you have a ~?”や“I have (don't have) ~.”など持っている物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、友達のために、文房具カードを用いて文房具セットをつくってプレゼントするという活動をゴールに設定する。聞き慣れない単語も出てくるため、単元を通してチャンツとゲームに取り組んでいき、児童が語彙や表現に十分慣れ親しみ、自信をもって友達とのやり取りを楽しめるようにしたい。また、様々な色の文房具カードを用意し、活動の中で必然的にこれまで学習してきた語彙や表現にも慣れ親しむことができるようにし、自分の思いや願いに合った語彙や表現を使って相手と会話をつなげる中で、楽しさを味わわせていきたい。

4 児童の実態 割愛

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文房具などの学校で使う物や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合っている。	相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとしている。

6 指導と評価の計画（4時間）

時	主な活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	<ul style="list-style-type: none"> ○教師が作った文房具セットについての話を聞き、単元の見通しをもつ。 ○文房具の言い方を知り、その数を数える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Watch and Think I ○文房具の言い方や、それを表す表現に慣れる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Play I (I spy ゲーム) ○持っている文房具について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ チャンツ 			
2	<ul style="list-style-type: none"> ○持っている文房具について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ チャンツ ・ キーワードゲーム ○持っている文房具を表す表現に慣れ親しむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Listen 文房具の言い方のほかに、数や色に注意して聞く。 ・ ペアになって互いに持っている文房具について紹介し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文房具などの学校で使う物の言い方に慣れ親しんでいる。 		
3	<ul style="list-style-type: none"> ○持っている文房具について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ チャンツ ・ ラッキーカードゲーム ○相手と同じ文房具セットを作る活動 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 文房具などの 	

	<p>を行い、英語を使って持っているものを訪ねたり答えたりする。</p> <p>○世界の子供たちが鞆の中に持っているものを知り、自分たちの持ち物と比べ、その違いを知る。</p> <p>・Let's Watch and Think2</p> <p>○ペアの友達と互いにどんな文房具がほしいかインタビューし合いながら買い物メモをつくる。</p>		<p>学校で使う物について尋ねたり答えたりして伝え合っている。</p>	
4 本 時	<p>○持っている文房具について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>・チャンツ</p> <p>○友達のために文房具セットを作る活動を行い、英語を使って持っているものを尋ねたり答えたりする。</p>			<p>・相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとしている。</p>

7 研究の視点

視点1 目的意識をもった活動の工夫

○相手と目的を意識した目標設定

本単元では、友達におすすめの文房具セットをつくりプレゼントする活動をゴールに設定している。第1時に教師の **Small Talk** を通して、学習のゴールを示すことで、自分ならどんな文房具セットをつくりたいか、そのためにはどんな語彙や表現が必要か明確になり、児童自身が目的意識をもって学習に取り組めるようにする。また、つくった文房具セットを友達にプレゼントするという活動にすることで、友達の好み等を考えながら、より相手意識をもって活動に取り組むことができると考える。

また、**Today's Goal** をもとに、C4の中で自分が頑張りたいことを決める。毎時間の振り返りカードで、C4のうちどれを意識したか毎回振り返ることで、コミュニケーションに必要となる基本的な力を身につけさせることができると考える。

※「C4」とは、コミュニケーションの際の4つのポイント（アイコンタクト、スマイル、クリアボイス、ジェスチャー&リアクション）として、本校で取り組んでいるもの。



○児童の思いや願いを表現できる活動内容の工夫

児童は多くの友達とやり取りをする楽しさを味わい、積極的にコミュニケーション活動に取り組む態度が育ってきているため、本単元では、会話を続けていく中で感じる楽しさや面白さを味わって

ほしい。そのため、一度のコミュニケーションが充実するような手立てをとっていく。本単元では、様々な色の文房具カードを用意し、お店屋さんとお客さんに分かれて文房具集めを行う。そうすることで、お客さん側の児童が「消しゴムを持っていますか。」と尋ねると、お店屋さん側の児童は「何色？」と質問をするなど、必然的に双方向のやり取りが生まれると考える。また、具体的な情報のやり取りを行うことから、聞き手は相手の話を繰り返して確認したり、相槌を打ったりしながら聞く、また話し手は相手が理解しているか様子を伺いながら話すなど相手に配慮しながら伝え合う態度にもつながるようにしていきたい。児童の思いや願いに合わせて既習の語彙や表現を使って豊かにやり取りすることができると思う。

8 本単元で扱う表現・語彙

- 表現 Do you have (a pen)? Yes, I do. / No, I don't. I have don't have a pen. This is for you.
- 語彙 have, 身の回りの物 (glue stick, scissors, pen, stapler, magnet, marker, pencil sharpener, case, desk, chair, clock, calendar), 状態・気持ち (short)

9 本時の指導

(1) 本時の目標

- 相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。

【学びに向かう力、人間性等】

(2) 本時の展開 (4 / 4)

過程	学習活動と内容	指導者の支援 ◎評価	教材・教具等
挨拶 (2)	1 挨拶をする。 T: Hello, everyone! How are you? S: I'm(fine/happy/hungry/sleepy). ・天気 ・月 ・曜日	○月、曜日、天気など、既習の表現に慣れ親しめるように確認する。	
復習 (3)	2 本時で扱う語彙や表現を復習する。 ○チャンツ Do you have a (an) ~? Yes, I do. / No, I don't.	○教師自身が「スマイル」と「クリアボイス」を強調し、明るい雰囲気の中で学習できるように、また児童も活動の中でこれらを意識できるように声掛けをする。 ○チャンツのスピードや扱う語彙、役割分担などを変えて、難易度を調整する。	・ピクチャーカード
展開	3 Today's Goal を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">おすすめの文ぼうぐセットをつくって、友達にプレゼントしよう。</div>		

<p>(5)</p>	<p>○文房具セットをつくるための活動の仕方を確認する。</p> <p>①お店屋さんとお客さんに分かれる。</p> <p>②お客さんは、買い物メモをもとに文房具を集める。(1つのお店につき1つまでもらえる。)</p> <p>③時間になったら、お店屋さんとお客さんを交代して行う。</p> <p>○C4の中から今日の活動で意識したいことを決める。</p>	<p>○教師と児童がデモンストレーションを行い、やり取りの仕方を確認できるようにする。</p> <p>○デモンストレーションの中でのよかった質問やリアクション(言葉を繰り返す、相槌を打つなど)を確認して、この後の活動の中でも取り入れられるようにする。</p>	<p>・買い物メモ</p> <p>・文房具カード</p> <p>・ワークシート</p>
<p>前半 (8)</p>	<p>4 持っている文房具について尋ねたり答えたりする。(前半)</p> <p>S1: Hello!</p> <p>S2: Hello!</p> <p>S1: Do you have an eraser?</p> <p>S2: Yes, I do. / No, I don't.</p> <p>What color?</p> <p>S1: It's blue.</p> <p>S2: blue? Yes, I do. I have a blue.</p> <p>Here you are.</p> <p>S1: Thank you. See you.</p> <p>S2: See you.</p>	<p>○“Hello.”や“Thank you.”などの挨拶も必ずするよう伝える。</p> <p>○アイコンタクトを意識させて、相手意識をもってやり取りできるようにする。</p> <p>○なかなか話し出せずに困っている児童には、教師の後に続けて言うように促したり、友達同士で教え合ったりするよう助言する。</p> <p>○英語で伝えられない場合はジェスチャーを使って表現するよう促す。</p> <p>○早く終わった児童には、ミッションカードを渡し、担任の先生への文房具セットをつくるように声をかける。</p>	
<p>中間 評価 (4)</p>	<p>5 アイコンタクトやリアクションを意識できている児童のやり取りを見て、良いと思ったところや、活動していて困ったことなどについて確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形をジェスチャーでも表していてわかりやすい。 ・持っていなかったときは、Sorryと言うといい。 	<p>○アイコンタクトやリアクションのできている児童を取り上げ、他の児童への意識付けを図る。</p> <p>○リアクションのよい表現が出てきたら全体で練習し、後半の活動で生かせるようにする。</p>	

	<p>・相手に聞き返して確認していた。</p>		
後半 (8)	6 役割を交代して、持っている文房具について尋ねたり答えたりする。 (後半)	◎相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとしている。	
(10)	7 つくった文房具セットを友達にプレゼントする。 ①集めた文房具カードをワークシートに貼る。 ②ペアの友達にプレゼントする。 S1: 青が好きな〇〇さんのために全部青で揃えました。 This is for you. S2: Thank you.	【主体的に学習に取り組む態度】 ○どうしてそのようなセットにしたのかも伝え合うことで、それぞれの思いをより理解できるようにする。	
まとめ (5)	8 今日の活動について振り返り、リフレクションシートに記入する。 9 挨拶をする。 That's all for today! Thank you. See you next time.	○できるようになったことや交流を通して気付いたこと、もっと頑張りたいことを振り返るよう声を掛ける。 ○リフレクションシートに記入したことを発表させる。	・リフレクションシート